

第5期
中間事業報告書

2002年4月 1日から
2002年9月30日まで

The Best partner for mobile Internet



あらゆるモバイルインターネット・ビジネスの
ベストパートナーをめざします。



株式会社サイバード 代表取締役社長

堀 主知ロバート

Kazutomo Robert Hori

1965年、米国ワシントンDC生まれ。関西学院大学法学部卒業後、英国留学を経てインターネット関連事業を手がける。'98年サイバードを設立、代表取締役社長に就任。37歳。

サイバードは、移動体通信事業者や関連の皆さまとともに、実り豊かな市場を創出し、着実に事業を展開してまいりました。黒字幅を大きく広げながら収益体質の強化に注力しております。今後も、業績基盤を固める一方、新たな成長へ向け世界を視野に入れ、先進のビジネスモデルの開発・確立を推進してまいります。

さらなる躍進へ向かう、第1次収穫期

モバイルインターネット・ビジネスにおいて常に先行するサイバードは、収益の堅持に努めた結果、前中間期からの黒字基調をさらに拡大。売上は前中間期比40.6%増の42億8千8百万円に、経常利益は5億7千万円に達しました。

サイバードグループでは、ROE（株主資本利益率）を重要な経営指標のひとつとしており、20%以上を目標としておりますが、当中間期は年換算で30.9%を達成することができました。今後も順調な実績が見込まれる、第1次収穫期を迎えております。

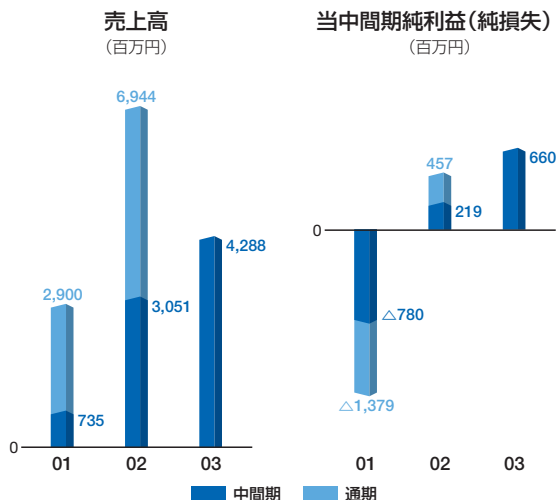
揺るぎない高収益で着実に成長する各事業

収益の安定成長を支える屋台骨が、モバイルコンテンツ事業です。2002年9月末の会員数は前中間期に比べて56万5千人増加し、347万9千人になりました。そのためコンテンツ事業の売上高は堅調に推移しております。コンテンツの淘汰が激しさを増す今、既存のコンテンツに最新の技術やマネジメントを加え、収益力に磨きをかけてまいります。

モバイルコンテンツ事業とともにサイバードの両輪となるべく、成長を重ねているのが、マーケティングソリューション事業です。前中間期に開発された「すぐメル™」は、さまざまな企業のキャンペーンでかつてない動員力を発揮し、新たなキャンペーンに採用される一方、既存事業に「すぐメル」を付加して差別化を図る「プラス・モバイル」の提案が数多くの企業に受け入れられております。

携帯電話は普及したものの、日常生活においてその能力を十分生かしきれていないとは言えません。携帯電話の機能を生かして、より便利な生活スタイルを演出するのが、コマース事業が提案する「プラス・モバイル」の仕組みです。

たとえば、今購入したいと思っても、時間や場所に制約があり、すぐ購入できない——そんな時チラシやカタログ、雑誌など紙媒体に掲載された「すぐメル」を利用すること



で、瞬時に購入申込ができるのです。2002年4月にスタートしたコマース事業は、物販事業者などと共に事業を構築し、継続的な売上・利益の確保を目指しております。

これらの事業を技術面でサポートするのが技術関連事業です。中核を成す株式会社ケイ・ラボラトリーは、最新のJava™ (*1) 及びBREW™ (*2) アプリケーションやミドルウェア (*3)、UIMカード (*4) とJavaの融合技術、Bluetooth™ (*5) の要素技術など最先端の技術開発を通して、モバイルインターネットの未知なる可能性を具現化しております。

また、安価で質の高い労働力をもつサイバード・コリアが、日本のコンテンツビジネスのファクトリーとして貢献。

さらに、映像大手の株式会社IMAGICAとの合併で設立した株式会社ディムープでは、将来の動画市場に向けて着々と映像事業を練り上げております。

「プラス・モバイル」を国内外で展開し、「共創共栄」を目指す

モバイルインターネット・ビジネスが世界へ広がるのに合わせて、各国の移動体通信事業者へのビジネスコンサルティングやコンテンツサービスなど、サイバードのビジネスは一段とグローバルに進展しております。海外事業では、GSM (*6) 方式を採用している欧州・アジア市場の先行奪取に向けて力を注いでおります。中でも重要な取り組みは次の2事業です。

モバイルコンテンツ事業

国内4大移動体通信事業者向けコンテンツの提供

マーケティングソリューション事業

顧客ニーズに応じたサイト構築、コンサルティング、企画、開発、運用及びパッケージ・ソリューションの提供

コマース事業

携帯電話を利用し、他メディアと連動したEコマースの提供

事業戦略 4つの柱

海外事業

海外移動体通信事業者向けコンサルティング、ソリューション提供及びコンテンツ提供

技術関連事業 株式会社ケイ・ラボラトリー

Java・BREWなどの新技术に対応したアプリケーションやプラットフォーム(*8)技術の開発とライセンス提供、及び先端技術の研究と事業化

ひとつは、iモードの海外進出に伴うコンテンツ配信です。サイバードは日本市場と同様に、各国でのサービスに積極的に参入いたします。ただし、文化・社会環境などコンテンツのヒット要因は複雑きわまりないため、当面は市場獲得が確実に見込める着信メロディーや待受画像に限り配信する予定です。

もうひとつの事業が、現地の移動体通信事業者と組んで展開するBranded SIMプロジェクトです。これは、GSMマーケットの携帯電話の必須機能パーツであるSIMカード(*7)をブランド化し、新規ユーザーの獲得を狙ってまいります。また、有料コンテンツサービスも展開し、収益を移動体通信事業者と分配いたします。Branded SIMは誰もが満足できる新しいビジネスモデルとなることでしょう。共にマーケットを創出し、共に繁栄する——こうした「共創共栄」の関係をビジネスパートナーと築き、世界のあらゆるモバイルインターネット・ビジネスのベストパートナーでありたい、と考えております。

このような事業戦略の推進とともに、適時に公平なディスクロージャーを徹底し、常に株主・投資家の皆さまと向き合いながら、確固たる業績の拡大と企業価値の向上に邁進してまいります。



代表取締役社長 堀 主知ロバート

*は巻末の用語解説をご覧ください。



© 1999-2002 CYBIRD

【波伝説】はサーフィンをテーマに、最新の波情報を中心に、待受画像や着信メロディーなど、海にちなんださまざまなオリジナルサービスをお届けしています。

ターゲットを絞り込んだコンテンツ開発

コンテンツビジネス成功の鍵は、人気コンテンツを開発できるかどうかです。サイバードの数ある人気コンテンツの中から、ドコモ公式メニューの上位にランクされる【波伝説】と【CoolSound】をもとに、開発から運営までのプロセスをご紹介します。

波伝説

サーファーから一般の人まで会員が増加中。
ユーザーの心をつかんだ開発コンセプトとは？

1998年、副社長の真田哲弥は「iモード」コンテンツの立ち上げにあたり、一般の人々の需要はそれほどなくても、特定の人に強く必要とされるものを探しました。そこで浮かんだのが、サーファー向けの波情報です。サーファーは波の情報をリアルタイムに欲しており、それ以前からファクスやダイヤルQ2による波情報配信ビジネスが成立していたのです。

真田は、そのビジネスのネットワークを、モバイルコンテンツ用のシステムに組み直しました。次いで、サーフィンという特定のマーケットを分析するため真田みずから

尽力し、サーファーの要望に応えるコンテンツを完成させました。こうして、1999年2月にサイバード初のiモードコンテンツとして誕生したのが【波伝説】です。その内容は、サーファーにとって必要不可欠であったため、iモードの普及とともに会員数は確実に増加していきました。

【波伝説】が競合サイトと一線を画するのは、波情報の正確さです。国内200ポイント、海外40ポイントの波情報を1日に最大6回更新しています。さらに、サーフグッズを扱うブランドのロゴマーク入り待受画像など、海が好きな人々への情報も充実しています。今後も、海を楽しむ多くの人々に向けた各種サービスの領域を広げながら、会員の増加を図っていきます。

NISSAN X-TRAIL JAPAN PRO SURFING TOUR 2002 プロ シリーズ 第4戦 「仙台波伝説プロ」、2002年9月24日、25日開催

【波伝説】がサポートするプロコンテスト「仙台波伝説プロ」が、仙台新港で開催されました。当日はほぼ予想通りの波がおとずれ、コンテストは最高のコンディションのもとで開かれました。【波伝説】の名のもとに結成されたプロサーファーチーム「TEAM

波伝説」で活躍したのは、紅一点の北川成美プロです。ファイナルに進出した北川プロは、惜しくも優勝は逃しましたが、スピード感あふれるテクニクを披露しました。

この戦況は、携帯電話でもリアルタイムに実況されました。駆けつけた【波伝説】会



©JPSA2002

優勝した大野プロ(左)と谷口プロ(右)

員の応援にも力が入り、会場は大きく盛り上がりました。

CoolSound

着信メロディーサイトの中でも、その確かな選曲眼とオリジナリティーは常に注目的。音楽業界での評価も高い【CoolSound】の運営主眼とは？

2001年6月1日に【CoolSound】がスタートする前、iモードにはすでに7、8個の着信メロディーサイトがありましたが、どれも日本のヒットチャートを扱う似通った内容のものでした。激しい競争環境の中で、【CoolSound】は洗練された選曲と美しいオリジナル着信音の提供により独自のポジションを確立し、既存のヒット曲では物足りない音楽ファンをまたたく間に魅了していきました。そして今や、他の着信メロディーサイトからも一目置かれる存在となっています。

感度の高い音楽ファンをメインターゲットとして開発された【CoolSound】は、テクノ・トランス・ハウスといったダンスミュージック、ROCK・レゲエ・HIPHOPなど、質の高い音楽を厳選し提供してきました。次代を予感させるアーティストや新しい楽曲を常に探し続ける制作スタイルを貫き、新曲アルバム発売前における着信メロディー先行ダウンロードや音楽イベントへの参加など、新しい試みにも積極的に取り組んでいます。【CoolSound】が生み出す一つひとつのこだわりと実績が熱狂的な音楽ファンを魅了し、彼らからの高い評価が口コミとなって広がり、ユーザーを着実に増やし続けています。

FUJI ROCK FESTIVALのオフィシャルサポーターとして、感動を会員とともに分かち合う

音楽と自然を自由に楽しみ、出演者・来場者・スタッフの全員でイベントを作り上げていくFUJI ROCK FESTIVAL。音楽に敏感な【CoolSound】の会員と、FUJI ROCKのほとばしる感動を分かち合いたい——そんな思いを込めて、【CoolSound】は2001年に初めてFUJI

ROCKのオフィシャルサポーターとなりました。好評の声にお応えして、2002年もサポーターとしてFUJI ROCKの新しい息吹を受け止め、出演アーティスト達のヒット曲の着信メロディーを提供いたしました。



FUJI ROCK FESTIVAL '02のロゴが入った【CoolSound】の携帯ストラップ



© 2000-2002 CYBIRD

【CoolSound】の着信メロディーは、さまざまなジャンルにわたり、吟味を重ね、選び抜いたものばかりです。トップアーティストによるオリジナル着信音など、熱狂的な音楽ファンを自負する会員の熱い声に応えています。

さまざまな市場ニーズを読みとり、それにふさわしい企業との提携・協業を進めるサイバード。将来を見据えた新たなモバイルビジネスモデルの構築と、事業機会の拡大を推進しています。

企業コラボレーションで、新モバイルビジネス

◆各分野のNO.1企業と提携を組む

サイバードは、さまざまな企業との提携を行っています。各企業の事業に携帯電話を持ち込むと、さらに便利なサービスが実現でき、マーケットは確実に広がります。「携帯電話のもつ可能性には期待するが、事業にどう応用すればいいかわからない」——このような課題に難なく対応できるのが、サイバードなのです。

提携による新規事業開発は一社一社個別に進め、企業とはレベニューシェアにより収益を分配します。各業界のNO.1企業などをパートナーに選びながら、かつてないモバイルビジネスを創出しています。多くの流通経路に携帯電話を用いることで、暮らしは一段と便利になります。それが大きな販促効果を生み出し、提携企業ひいては産業の活性化に繋がります。携帯電話に秘められた可能性は未知数であり、「あらゆる産業のベストパートナー」であるサイバードの成長も無限に広がっています。

◆「プラス・モバイル」でビジネスチャンスを拡大

これまで携帯電話を使ったビジネスモデルは数少なく、コンテンツそのものへの課金モデルが中心でした。各企業のコンテンツ展開は、最大のプラットフォームであるiモードに集中しました。何よりもiモード公式メニューに採用されるべく、各企業はさまざまな形でコンテンツの充実を図ったのです。サイバードは魅力あふれるコンテンツを世に送り出す一方、携帯電話をパーソナル・ツールと位置づけ、新しい可能性を開拓しました。雑誌やテ

レビで広告を見た時の「これが欲しい」「これをしたい」という気持ち、「エモーション」を、携帯電話で「買う」「応募する」など具体的な「アクション」へ変えさせたいと考えたのです。

雑誌などのメディアと携帯電話を結びつけた「プラス・モバイル」の発想で、生活がより便利に楽しくなります。それを可能にするのが、サイバードが開発した「すぐメル」です。この仕組みを利用したプロモーションは、すでにさまざまな企業との提携により展開されています。「すぐメル」の導入は、採用した企業の予想をはるかに越える成果をあげ、新たなモバイルビジネスのチャンスを拡大しています。

◆「すぐメル」に続く、新たなプラットフォームの誕生

写真の楽しみ方に新風を吹き込む、話題の【プリネット】をご紹介します。【プリネット】は、一般のプリント（紙焼き）写真を携帯電話の待受画面にしたり、インターネット対応携帯電話の間で交換ができる、画像コミュニケーションサービスです。

もともとは株式会社アトラスが開発した、「プリント倶楽部」の後継機、「プリネット・ステーション」用のiモードコンテンツとして2000年5月にスタートしました。その後、2001年



©2000-2002 CYBIRD

スを創出

11月にはヤフー株式会社、2002年4月にはコダック株式会社と提携して、パソコンや写真のDPE店と連動した利便性の高い新サービスを展開しています。

サイバードでは、さまざまな企業との提携を重ねることで、独自のプラットフォームとしての【プリネット】の可能性を追求しています。

■【プリネット】の仕組み



アライアンス・ヒストリー

サイバードはさまざまな企業との提携で、どのような成果をあげているのでしょうか？ 過去1年間の代表的な提携事例を振り返り、ご紹介します。

2001年度

2001年 11月提携

●びあ株式会社
「チケットびあ」+「すぐメル」
2002年1月より、びあ発行の『Weeklyびあ』に「すぐメル」導入を開始。携帯電話はプロモーション・ビジネスにおける有効なツールとして活用され、新しいビジネスモデルが生み出されました。

2001年 11月提携

●株式会社IMAGICA
映画情報総合サイト
【シネマイマジカ モバイル】
映像技術サービス最大手の株式会社IMAGICAとの提携により、携帯電話向け映画情報サイト【シネマイマジカモバイル】が誕生しました。動画による映画予告編配信サービスは、圧倒的な質と量を誇ります。

2001年 11月提携

●ヤフー株式会社
「Yahoo! フォト」+【プリネット】
オンラインアルバムサービス「Yahoo! フォト」にアップロードしたデジタル写真・画像を携帯電話から閲覧・転送して、待受画面として利用できるサービスを開始しました。

2002年度

2002年 4月提携

●コダック株式会社
DPE店+【プリネット】
コダックのDPE店に現像を依頼し、アナログカメラで撮影した写真を携帯電話で確認したり、アルバムとして携帯電話で閲覧可能です。さらに写真プリントの注文を、携帯電話から直接発注できます。

2002年 8月提携

●伊藤忠商事株式会社
アジアでコンテンツを配信
海外での豊富なビジネス・ネットワークを誇る伊藤忠商事株式会社とビジネスを展開できる体制を確立しました。第1弾として台湾の移動体通信事業者KGI Telecom社の「KGIモード」向けに【Cool Screen】を配信中です。

2002年 9月提携

●伊藤忠商事株式会社+びあ株式会社
モバイルマーケティングでの新情報サービスを開始
びあ発行のメディア(第1弾は『グルメびあ秋/首都圏版』)と「すぐメル」を融合させ、顧客を確実に店舗へ誘導する画期的なサービスを、伊藤忠商事株式会社・びあ株式会社と共同で展開しています。

先進性と内容の充実を図り、次世代成長へ

■ 売上高／構成比について

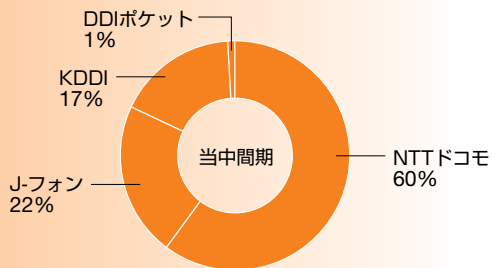
	当中間期	前中間期	増減
売上高	3,544百万円	2,679百万円	865百万円
対連結売上構成比	82.7%	87.8%	△5.1ポイント

2003年3月期 中間期の営業概況

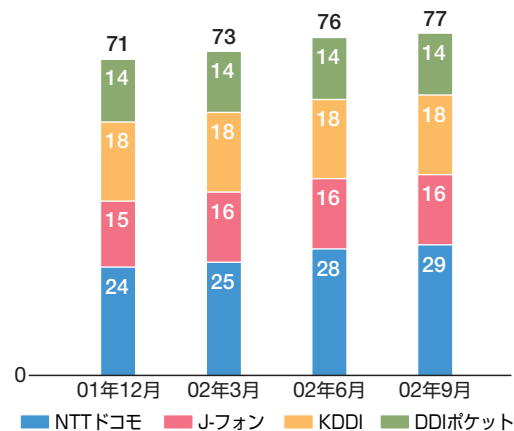
モバイルコンテンツプロバイダーの先駆者として、常に斬新なコンテンツを提供するよう努めています。2002年9月末現在では国内移動体通信事業者に77個のコンテンツを提供しており、そのうち当中間期は4個のコンテンツを新規に投入したほか、NTTドコモの新機種504iに対応したコンテンツのバージョンアップに注力しました。クオリティの高いコンテンツが、ユーザーの幅広い支援を得たことで、登録会員数は前中間期に比べ56万5千人増加し、347万9千人になりました。

今後も次世代に繋がる先進性と内容の充実を図り、コンテンツビジネスの先端を進んでいきます。

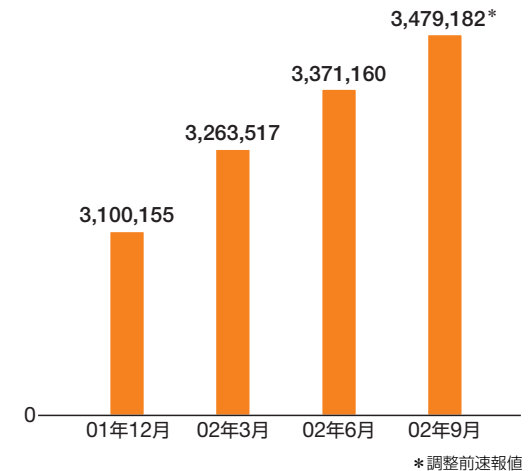
移動体通信事業者別売上構成比



当社提供国内コンテンツ数の推移



当社提供国内コンテンツ登録会員数の推移 (人)



コンテンツ紹介

ユーザーから高い評価を得る、多種多様なコンテンツ。今回はエンターテインメント性や機能性に優れたコンテンツをご紹介します。

モバイルサイトの新しい形【Cybird Style】



© 2000-2002 CYBIRD

▲ iモード版



© 2002 CYBIRD

▲ KDDI版

iモード版の主なサービス内容

- Game Style/サイバードのゲームコンテンツを一覧で紹介
- 無料待受/ジャンル別の待受画面を毎日追加
- メルメロノ/メール着信音に最適なメロディーを毎日追加
- プレゼント&キャンペーン/毎月2~4回プレゼントキャンペーンを実施
- スペシャル☆メニュー/有料コンテンツ登録ユーザーのみ利用できるお楽しみ情報
- サイバードリンク集/コンテンツをジャンル別に紹介
- 無料待受/ジャンル別の待受画面を毎日追加
- メルメロノ/メール着信音に最適なメロディーを毎日追加
- プレゼント&キャンペーン/毎月2~4回プレゼントキャンペーンを実施
- スペシャル☆メニュー/有料コンテンツ登録ユーザーのみ利用できるお楽しみ情報
- サイバードリンク集/コンテンツをジャンル別に紹介

2002年6月17日より、NTTドコモのiモード公式サイトとして、総合エンターテインメントサイト【Cybird Style】をスタートしました。サイバードの人気コンテンツをまとめて紹介する他、無料コンテンツやプレゼントなどもあります。

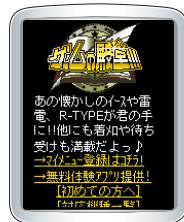
また、2002年10月23日にはKDDIでもサービスがスタート、待受画像やグリーンディングメールなどの無料コンテンツが楽しめます。

新規コンテンツ及びバージョンアップコンテンツ

NEW ゲームの殿堂!!!

- NTTドコモ/iアプリ対応

ゲーム



© 2002 CYBIRD

「ファミコン世代」を熱狂させた懐かしのゲームの世界を再現。定番ゲームのオリジナル版、さらに「おはじき」などの昔の遊びのデジタル版が楽しめるミニゲームサービスです。

NEW シネマイマジカ モバイル

- NTTドコモ/iモード・iモーション対応

(バージョンアップ) シネマイマジカ

- KDDI/ezweb・ezmovie対応

地図/情報



© 2002 IMAGICA Corp.
© 2002 CYBIRD

映画情報データベース(4万件以上のデータを網羅)、予告編の動画配信、新作映画特集、上映スケジュールなどを見られる映画情報専門サイトです。【シネマイマジカ】にも、【シネマイマジカモバイル】と同様のメニューを追加。

バージョンアップ 3D待受情報局

- J-フォン/Javaアプリ対応

ビジュアル



© SACHIKO KIYONO・ITOCHU・POLYGON PICTURES・Columbia Music Entertainment
© 2002 AT&KODANSHA LTD.
© 2002 CYBIRD

【着キャラ!】の新サービスです。「ポバイ」「バーバババ」他、おなじみのキャラクター達が3Dとなり、かわいい動きで電話やメールの着信などを知らせてくれます。ニュースや天気などタイムリーな情報も配信、便利さも兼ね備えています。

NEW デジタル所さん3Dタウン

- NTTドコモ/iアプリ対応
- J-フォン/Javaアプリ対応

ビジュアル



© TV-CLUB・POLIGON PICTURES・VAP・NTV
© 2002 CYBIRD

日本テレビの人気番組「デジタル所さん」を3D待受アプリに再現。3Dの所さんを前後左右、拡大縮小など自由自在に動かすことができます。

躍進の道を歩む独自のプラットフォーム

■ 売上高／構成比について

	当中間期	前中間期	増減
売上高	578百万円	297百万円	281百万円
対連結売上構成比	13.5%	9.7%	3.8ポイント

2003年3月期 中間期の営業概況

マーケティングソリューション事業は、近い将来、モバイルコンテンツ事業と肩を並べる事業へと発展成長が見込まれています。当中間期は、その大きな期待に応え著しい伸びを示しました。要因は、「すぐメル」による市場の開拓と創出に他なりません。

「すぐメル」単体の拡販が順調に進む一方、「すぐメル」を利用した各種キャンペーンパッケージでも各企業の予想をはるかに上回る成果をあげています。「いつでも、どこでも」アクセスできるモバイル連動の効果は大きく、「すぐメル」によるキャンペーン成功の実績が増加しています。今後も「すぐメル」を中心に、モバイルマーケティングにおいてその圧倒的な牽引力を強化していきます。

「すぐメル」を鍵にした、キャンペーン・トータルサポート

サイバードはあらゆる媒体に「すぐメル」を連動させて提供し、キャンペーンの告知から運営、さらにはCRMへのコンサルティングまで、一貫した体制でキャンペーンのサポートに努めています。「すぐメル」とは、目的のサイトへアクセスする際の煩わしい文字入力を簡略化したもので、多くの携帯電話ユーザーをさまざまなキャンペーンに誘導できます。

EMOTION

「すぐメル」はさまざまな媒体となじみやすく、キャンペーンに参加したい気持ち「エモーション」を実際の行動「アクション」に結びつけます。参加を促すきっかけづくりとして、強い即効力が数々のキャンペーンで証明されています。組み合わせ媒体例には新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・パソコン・商品パッケージ・商品サンプリング・店頭ポスター・街頭広告・車内広告などがあります。

CAMPAIGN

コストを抑え、しかも短期間で効果的なモバイルソリューションをお届けしたい——「すぐメル」は、そのような考えのもとに、ジャンルや期間、形態などを問わず、さまざまなキャンペーンを数多くサポートしてきました。販売促進のみならず、テーマパークの集客、大手新聞社のモバイルサイト入会、映画の試写会応募など集客キャンペーンにも多大な成果をあげるなど、キャンペーンサポート力への評価は日を追うごとに高まっています。



▲新作映画「リターナー」キャンペーン（東宝）



▲栄養ドリンクキャンペーン（セブン-イレブン）

DATA

「いつ、どこからアクセスされたか」などのアクセスログを集計し解析することで、ユーザー特性を把握。また、媒体別にデータを分析することができます。その結果を次回からの広告やキャンペーンに的確に反映させて、販売促進や集客効率を着実に高めていきます。

CRM (*9)

データを一元管理し、次回のキャンペーンのための戦略データベースとして活用。さらに事務局サポートサービス、クーポン配信、販売促進メール配信などを駆使し、獲得した顧客の囲い込みを図り、次回成功への足掛かりを固めます。このように効率よく、継続的な長期戦略を展望できるのもトータルサポートならではの強みです。

● 「すぐメル」単体の拡販

株式会社フジテレビジョン	2002年4月から「すぐメル」運動の情報番組がスタート。チケット予約やグッズ購入が簡単にできたり、番組から最新お得情報をいち早く入手できるなど各種サービスを提供。
キリンビール株式会社	人気商品の東海地区限定キャンペーンにて試用後、新商品の全国キャンペーンで大々的に利用。携帯電話ユーザーを戦略的な市場と位置づけ、さまざまなキャンペーンや企画を企画。
株式会社 ツタヤ オンライン	SHIBUYA TSUTAYAなど、全国の大型店舗10店で実施された新規会員募集キャンペーンにて利用。
コスモ石油株式会社	コスモ石油携帯サイトへの会員登録を目的に、会員誌、その他広告媒体からの誘導に「すぐメル」を利用。
タワーレコード株式会社	大阪難波店のオープニングキャンペーン、携帯サイトへの誘導として、タワーレコードのショッピングバッグやチラシ、音楽専門誌などさまざまな広告媒体と「すぐメル」を連動。
日本道路公団	「すぐメル」を利用し、中央自動車道集中工事の車線規制に伴う該当区間の所要時間情報を提供。

● 「すぐメル」を利用した企業キャンペーンパッケージの拡販

東宝株式会社	新作映画「リターナー」にて、雑誌や屋外広告など、さまざまな広告媒体から携帯公式サイトへ誘導。また、渋谷ジャックイベントにて3面ビジョンと連動し、イベント参加型携帯利用を促進。
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	栄養ドリンクの需要が高まる暑い時期の売上アップを狙い、全国のセブン-イレブン約9,000店舗で携帯ユーザー限定のクロードキャンペーンを実施。そこで「すぐメル」をはじめとするキャンペーンシステムを提供。
株式会社レインズ インターナショナル	エイ・ネーション協賛キャンペーンにて大々的に利用。コンサート会場にて“牛角”ロゴと「すぐメル」アドレスが印刷された団扇を配布。


**コマース
事業**

携帯電話で、「買いたい気持ち」をそのまま購買へ直結

2003年3月期 中間期の営業概況

コマース事業は、2002年4月1日の組織改正で、モバイルビジネスソリューション事業がマーケティングソリューション事業とコマース事業に分割されたことにより誕生しました。モバイル・コマース・ソリューション「サイバードショップス」など、携帯電話でのEコマースに特化した事業内容を展開しています。携帯電話で購買意欲を購買行動

へ導く——これが、サイバードが提唱するモバイルコマースであり、2005年に2兆4500億円市場への成長が予測（株式会社情報通信研究所調べ）されるモバイルコマース分野での事業拡大を図ります。

サイバードショップス

モバイル・コマース・ソリューションを具現化したものとして、「サイバードショップス」があります。「サイバードショップス」をご利用いただいた企業の携帯サイトでは、ユーザーは「買いたい」と思った瞬間に商品を購入することができます。時間や申込方法など、従来の通販の壁を取り払う「サイバードショップス」は、一般ユーザーの利便性ととも、新たなマーケティングを模索する企業の販売促進に大きく貢献しています。

「サイバードショップス」4つの特長

- 1. 参加店とユーザーの橋渡し**
「すぐメル」との連動による簡単アクセス、ユーザーへのメール・ニュース配信機能やさまざまなプロモーション機能を装備しました。
- 2. パソコンとの違いを反映させたショッピングサイト**
携帯電話から、最低限の操作で商品購入ができます。
- 3. ショッピングサイト間で顧客データを共有**
ユーザーが登録した個人情報をデータベースに保管し、ショップ間での共有を可能にしました。
- 4. 低コストのショップ運営機能**
簡単にタイムリーなショップ内の更新作業を可能にする機能を提供しています。

● 「サイバードショップス」導入事例

株式会社サンリオ	株式会社サンリオでは、2002年夏に「すぐメル」と連動させたショッピングサイトをオープン。月刊誌「いちご新聞」に、「すぐメル」コードを掲載。アクセスして商品コードを入力するだけで、商品が入手できます。
株式会社JALUX	パリ在住の日本女性が、ココナッツオイルをもとにつくるMASACO石鹸。株式会社JALUXのオンラインショップMASACO Shoppingでは、2002年8月より「すぐメル」を活用して、携帯電話からの注文を受付けています。
トイザラス・ドット・コム ジャパン株式会社	おもちゃのオンラインショッピング最大手であるトイザラス・ドット・コム ジャパン株式会社は、2002年10月より、「すぐメル」を活用。チラシなどに掲載された商品コードを入力、簡単にサイトにアクセスし、商品を購入できます。



先端のモバイル技術を生み出す先進の研究開発

■ 売上高／構成比について

	当中間期	前中間期	増減
売上高	154百万円	69百万円	84百万円
対連結売上構成比	3.6%	2.3%	1.3ポイント

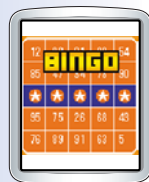


2003年3月期 中間期の営業概況

コンテンツ事業、マーケティングソリューション事業、コマース事業で展開されるモバイルビジネスを技術面から力強く支えるとともに、日本国内はもとより世界市場も視野に入れて、端末技術の研究・開発・ライセンスングなどを行っています。その一翼を担う連結子会社、株式会社ケイ・ラボラトリーでは、移動体通信事業者ならびに端末メーカーと密接に協業しながら、Java対応携帯電話向けニュース専用ブラウザ「News Viewer」(仮称)を開発するなど、先進のJava及びBREWアプリケーションやミドルウェアの企画・開発を競合他社に先んじて進めています。

Javaアプリケーション

iモード公式サイト【あぶり待受時計屋さん】向けのスペシャル時計、『松井君時計』第3弾がスタートしたほか、ezplus向け懸賞パズルゲームサイト【懸賞パズラー】に『ビルディングパズル』、『ボンバーパズル』を追加。iモード公式サイト【ハローキティの超便利メール】に「iエリア」(*10)を利用した『旅先メール』(*11)をイマジニア株式会社と共同開発しました。また、株式会社NTTドコモ関西の夏・秋キャンペーン用に【ビンゴッQ!】、【見るトモ】を企画・開発。2002年7月15日、毎日新聞社と共同で【αスポニチ速報】をオープンしました。



©NTT Docomo Kansai

▲ビンゴッQ!



©2002毎日新聞社・スポーツニッポン新聞東京本社

▲αスポニチ速報

BREWアプリケーション

SWF (*12) ファイルをBREW上で再生できるアニメーションエンジンを開発。高い性能が評価され、クアルコム社提供のBREW搭載端末に実装されました。2002年7月に開催されたワイヤレスジャパン (*13) のクアルコム社ブースで展示されました。



プラットフォーム

画像やオーディオ、Javaなどのマルチメディア・アプリケーションを高速処理する次世代携帯電話(*14)用プロセッサ (*15)、日立製作所の『SH-Mobile』にケイ・ラボラトリーが開発した『携帯電話向けSWF対応プレーヤー』が搭載されました。ワイヤレスジャパンのケイ・ラボラトリーブースでは、2D (2次元) アニメーションを高速に再生するデモンストレーションを上演。多くの来場者が、携帯電話とは思えぬスピードや変化に魅了されました。



海外モバイルビジネスを変える、新プロジェクトがスタート

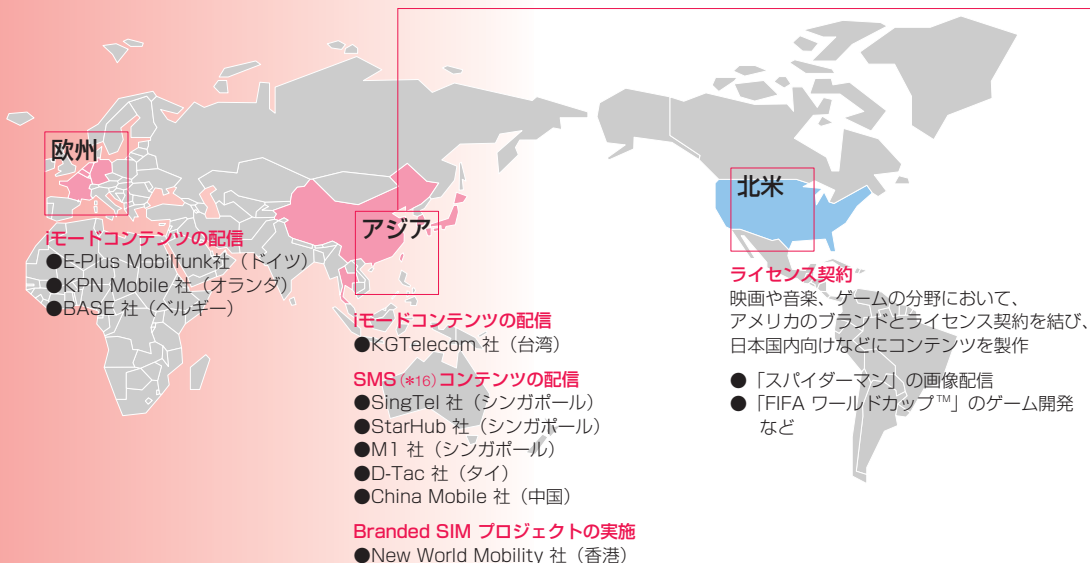
■ 売上高／構成比について

	当中間期	前中間期	増減
売上高	11百万円	4百万円	6百万円
対連結売上構成比	0.2%	0.2%	0.0ポイント

2003年3月期 中間期の営業概況

自国でのモバイルビジネス進出を図る海外企業に向けて、それぞれの文化や社会環境、商習慣などに細かく配慮した最適のコンサルティングやソリューションを提案。ビジネスパートナーとして、確実に実績を積み上げるとともに、活躍の場を各国へ広げています。

また、欧州、アジアに先陣を張り、各国の移動体通信事業者へのコンテンツサービスやSIMカードと連動したアプリケーション・プラットフォームの提供など、モバイルビジネスを意欲的に繰り広げています。欧州、アジアのGSM方式携帯電話で使われるSIMカードに着目した新しいプロジェクト、Branded SIMプロジェクトが2002年8月に香港でスタートしました。



Branded SIMカード戦略、「Twins Mobile」が香港でスタート

サイバードは香港の移動体通信事業者であるNew World Mobility社と共同で、2002年8月28日よりTwinsブランドのSIMカード販売を開始しました。Twinsは、香港で圧倒的な人気を誇るアイドルグループです。SIMカードをGSM方式携帯電話にセットすると、Twinsの着信メロディーなどのコンテンツに簡単にアクセスできるほか、関連情報が携帯電話上で自動更新されるのが最大の特長です。一般ユーザー向けBranded SIMカードの商用化は世界でも初めての試みで



あり、「Twins Mobile」プロジェクトによる通話及びコンテンツ利用によるデータ通信で発生した合計料金の一部を、サイバードがNew World Mobility社より受け取る新しいビジネスモデルを構築しました。

中間連結貸借対照表

	単位：千円		単位：%
	当中間期 2002年9月30日現在	前中間期 2001年9月30日現在	増減率
資産			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	2,597,033	2,022,216	28.4
2. 受取手形及び売掛金	2,117,527	1,566,615	35.2
3. たな卸資産	36,052	24,986	44.3
4. その他	258,680	116,386	122.3
5. 貸倒引当金	△31,426	△55,444	△43.3
流動資産合計	4,977,867	3,674,760	35.5
II 固定資産			
1. 有形固定資産	121,795	135,971	△10.4
2. 無形固定資産			
（1）ソフトウェア	474,659	596,321	△20.4
（2）ソフトウェア仮勘定	26,724	26,238	1.9
（3）その他	1,486	1,207	23.1
無形固定資産合計	502,871	623,766	△19.4
3. 投資その他の資産			
（1）敷金	255,400	255,043	0.1
（2）その他	261,296	94,471	176.6
投資その他の資産合計	516,696	349,515	47.8
固定資産合計	1,141,363	1,109,254	2.9
資産合計	6,119,231	4,784,015	27.9

	単位：千円		単位：%
	当中間期 2002年9月30日現在	前中間期 2001年9月30日現在	増減率
負債			
I 流動負債			
1. 買掛金	390,463	265,662	47.0
2. 短期借入金	287,700	500,000	△42.5
3. 賞与引当金	67,025	31,149	115.2
4. 未払金	578,085	351,181	64.6
5. その他	18,589	24,460	△24.0
流動負債合計	1,341,863	1,172,453	14.4
II 固定負債			
固定負債	-	43,816	-
固定負債合計	-	43,816	-
負債合計	1,341,863	1,216,270	10.3
少数株主持分			
少数株主持分	25,211	27,942	△9.8
資本			
I 資本金	2,565,500	2,405,500	6.7
II 資本剰余金	2,622,200	2,462,200	6.5
III 利益剰余金	△434,870	△1,333,479	67.4
IV その他有価証券評価差額金	-	7,679	-
V 為替換算調整勘定	△674	△2,097	67.9
資本合計	4,752,156	3,539,802	34.2
負債、少数株主持分及び資本合計	6,119,231	4,784,015	27.9

※1. 記載金額は表示単位未満を切り捨てております。

中間連結損益計算書

	単位：千円				単位：%
	当中間期 2002年4月1日から2002年9月30日まで		前中間期 2001年4月1日から2001年9月30日まで		増減率
I 売上高		4,288,609		3,051,293	40.6
II 売上原価		2,051,331		1,506,118	36.2
売上総利益		2,237,278		1,545,175	44.8
III 販売費及び一般管理費					
1. 広告宣伝費	153,257		182,896		
2. 貸倒引当金繰入額	31,426		33,199		
3. 役員報酬	130,959		107,949		
4. 給与手当	293,771		190,657		
5. 福利厚生費	47,393		35,678		
6. 賞与引当金繰入額	28,393		10,953		
7. 旅費交通費	38,560		15,778		
8. 研究開発費	201,413		255,227		
9. 支払手数料	504,217		369,356		
10. その他	234,935	1,664,328	170,319	1,372,017	21.3
営業利益		572,949		173,158	230.9
IV 営業外収益		2,816		1,051	167.9
V 営業外費用		5,318		52,915	△89.9
経常利益		570,446		121,294	370.3
VI 特別利益		9,360		88,045	△89.4
VII 特別損失		24,306		1,524	1,494.9
税金等調整前中間純利益		555,499		207,816	167.3
法人税、住民税及び事業税	201,941		1,410		
法人税等調整額	△287,951	△86,009	-	1,410	△6,199.9
少数株主損失		18,753		13,014	44.1
中間純利益		660,262		219,420	200.9

中間連結剰余金 計算書

	単位：千円			
	当中間期		前中間期	
	2002年4月1日から2002年9月30日まで		2001年4月1日から2001年9月30日まで	
I 欠損金期首残高		-		1,544,935
II 欠損金増加高				
持分法適用会社増加に伴う欠損金増加高		-	7,964	7,964
III 中間純利益		-		219,420
IV 欠損金中間期末残高		-		1,333,479
資本剰余金の部				
I 資本剰余金期首残高		2,465,200		-
II 資本剰余金増加高				
新株発行に伴う増加高	157,000	157,000		-
III 資本剰余金中間期末残高		2,622,200		-
利益剰余金の部				
I 利益剰余金期首残高		△1,095,133		-
II 利益剰余金増加高				
中間純利益	660,262	660,262		-
III 利益剰余金中間期末残高		△434,870		-

中間連結キャッシュ・
フロー計算書

	単位：千円	
	当中間期 2002年4月1日から2002年9月30日まで	前中間期 2001年4月1日から2001年9月30日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前中間純利益	555,499	207,816
2. 減価償却費	186,963	170,209
3. 受取利息及び受取配当金	△497	33,199
4. 支払利息	2,801	△324
5. 新株発行費	-	2,108
6. 持分法による投資損失	2,517	49,433
7. 投資有価証券売却益	△9,360	△44,862
8. 持分変動利益	1,899	△43,182
9. 売上債権の増加額	△102,120	△309,147
10. 仕入債務の増加額	59,889	85,321
11. 未払金の減少額	△162,893	△2,141
12. その他	△23,462	102,487
小計	511,236	250,917
13. 利息及び配当金の受取額	496	301
14. 利息の支払額	△3,094	△3,117
15. 法人税等の支払額	△3,170	△2,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,468	245,819
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産の取得による支出	△8,625	△11,525
2. 無形固定資産の取得による支出	△227,530	△154,077
3. 投資有価証券の取得による支出	△50,000	△42,691
4. 投資有価証券の売却による収入	25,110	60,000
5. 敷金差入れによる支出	△450	△144,519
6. その他	△5,328	△33,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,825	△326,733
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入れによる収入	250,000	500,000
2. 短期借入金の返済による支出	△262,300	-
3. 株式の発行による収入	314,000	-
4. その他	△5,992	42,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	295,708	542,753
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	-
V 現金及び現金同等物の増加額	534,341	461,839
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,062,691	1,560,377
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,597,033	2,022,216

会社概要 (2002年9月30日現在)

社名

株式会社サイバード

英文名

CYBIRD Co., Ltd.

設立

1998年9月29日

資本金

2,565,500,320円

所在地

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル
TEL：03-3431-0111（代表）

社員数

169名（連結237名）

事業内容

インターネット対応携帯電話に関連した一般向けコンテンツ配信、法人向けマーケティング・ソリューション提供、及びWebサイト企画・開発・運用など

証券コード

4823 (JASDAQ)

役員

代表取締役社長	堀 主知	口バート
取締役副社長	真田 哲弥	
専務取締役	岩井 陽介	
常務取締役	中島 謙一郎	
取締役	山下 伸一郎	
取締役	吉川 友貞	
取締役	稲荷 幹夫	
取締役（非常勤）	立石 知雄	
監査役	内海 淳	
監査役（非常勤）	竹山 正久	
監査役（非常勤）	清水 博	



取引銀行（五十音順）

あおぞら銀行
東京三菱銀行
みずほ銀行
三井住友銀行
UFJ銀行

加盟団体（五十音順）

インターネット広告推進協議会
モバイル・コンテンツ・フォーラム
社団法人日本テレマーケティング協会

連結子会社

株式会社ケイ・ラボラトリー
株式会社ディムープ

持分法適用関連会社

CYBIRD KOREA Co., Ltd.

株式の状況 (2002年9月30日現在)

発行済株式の総数

31,640株

2002年9月30日を基準日とし、同年11月15日を効力発生日とした株式分割（分割比率2：1）を行う予定です。

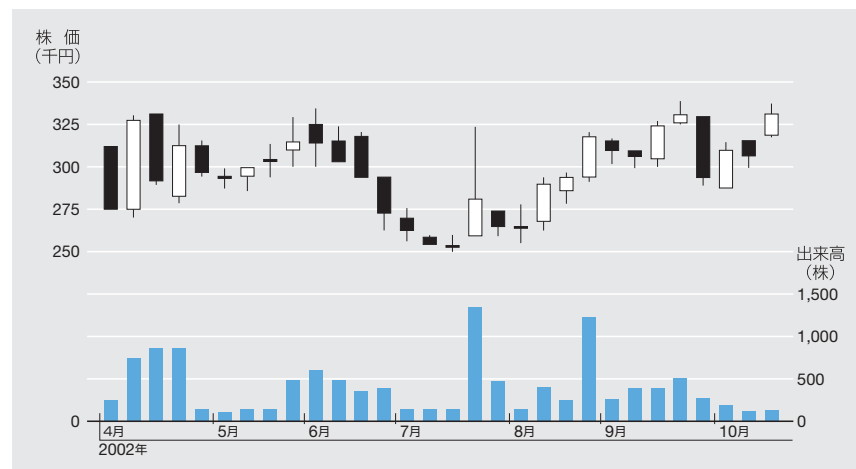
株主数

1,334名

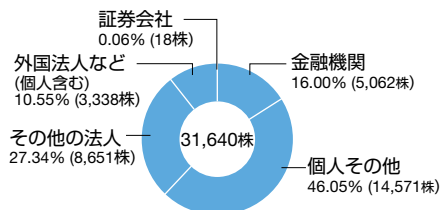
主要株主

株主名	株数	割合
堀 主知	口バート	4,299株 13.58%
岩井 陽介	1,953株 6.17%	
真田 哲弥	1,827株 5.77%	
オムロン株式会社	1,800株 5.68%	
オムロンファイナンス株式会社	1,780株 5.62%	
日本スタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,345株 4.25%	
伊藤忠商事株式会社	1,260株 3.98%	
株式会社らうむず	1,260株 3.98%	
立石 知雄	1,098株 3.47%	
中島 謙一郎	1,046株 3.30%	
株式会社 IMAGICA	1,000株 3.16%	

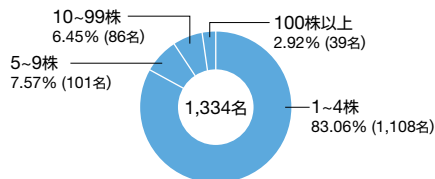
株価チャート（週足で株価・出来高）



所有者別状況

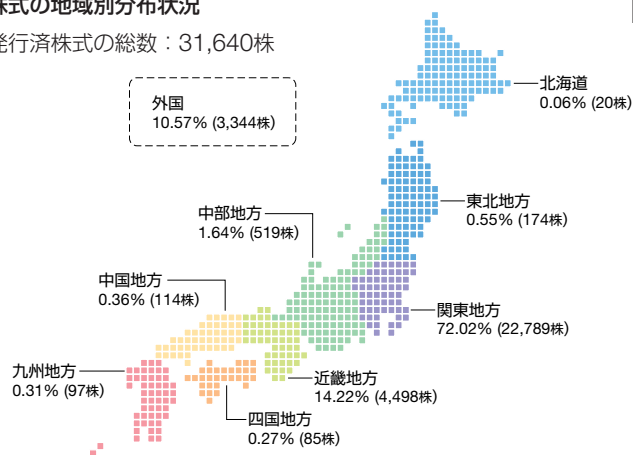


所有株数別状況



株式の地域別分布状況

発行済株式の総数：31,640株



EOY JAPAN 2002において、堀 主知ロバートがグロース部門優秀賞

世界各国から優れた起業家を選び表彰する『アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー (Entrepreneur Of The Year :EOY)』は、16年前にアメリカで始まり、現在世界22カ国で開催されています。



2002年10月8日、この第2回日本大会、EOY JAPAN 2002が開催され、当社代表取締役社長、堀 主知ロバートがグロース部門優秀賞に輝きました。携帯電話ビジネス市場のパイオニアとして、活躍の舞台を世界に大きく広げている点を高く評価されたものです。この受賞をバネとして、今後もさらなる飛躍を目指します。

■クアルコム社の第1回BREW™ Developer Award (*17) を受賞

2002年6月、KDDIに採用されたインスタントメッセージのBREWベースの高度な技術が評価され、クアルコム社のBREW 2002 Developers Conferenceにおいて、株式会社ケイ・ラボラトリーがBREW Developer Awardを受賞しました。BREW Developer Awardは、世界の商用BREWアプリケーション開発者の中から、優れたアプリケーションを開発した者に贈られる賞です。このインスタントメッセージは、自分の表情や感情を表すキャラクターとして選んだ3Dキャラクターをメッセージに付けて送信できるものです。

開発を指揮したサイバード技術担当取締役及び株式会社ケイ・ラボラトリー取締役の稲荷幹夫 ▶



■危機管理委員会を設立

サイバードは、既存の組織体制とは別の、危機管理を担当する常設の組織体制が必要と考え、2002年4月に社長の堀を委員長とする全10名からなる委員会を設立しました。全社的にさまざまな角度から危機を分析・把握・管理し、危機を未然に防止するほか、顕在化したリスクについても、委員会が主となり迅速かつ効果的に対処し、損失を最小限にとどめます。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領	利益配当金 毎年3月31日
株主確定日	中間配当金 毎年9月30日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務所取扱所	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5683-5111 (代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社本店及び各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞 (なお、商法改正に伴い、決算公告については弊社ホームページ上での開示のみとさせていただきます。)

将来に関する記述に対する注意事項

本資料には、将来の財政状態及び経営成績に関する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

- * Java及びJavaに関連する全ての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- * BREWは、米国QUALCOMM Incorporatedの米国及びその他の国における商標です。
- * Macromedia及びMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の商標または登録商標です。
- * Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。
- * 「iモード」「iアプリ/アイアプリ」「iモーション/アイモーション」「iエリア/アイエリア」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- * 「J-SKY」は、J-フォンの商標です。
- * 「ezweb」「ezmovie」は、KDDI株式会社の商標または登録商標です。
- * 「サイバード」及び「CYBIRD」ロゴは、株式会社サイバードの商標または登録商標です。
- * 「すぐメル」は、株式会社サイバードの商標です。
- * 本誌に掲載されている商品名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 1998-2002 CYBIRD Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式会社サイバード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル
Tel:03-3431-0111(代表) Fax:03-5408-1200

<http://www.cybird.co.jp/>

用語解説

- (*1) **Java™**
米国サン・マイクロシステムズ社が開発した、特定のOSに依存せず単独で実行できるプログラミング言語です。
- (*2) **BREW™**
(Binary Runtime Environment for Wireless)
米国クアルコム社が開発した携帯電話向けアプリケーション動作環境です。
- (*3) **ミドルウェア**
OSとアプリケーションプログラムとの間に介在し、システム上のアプリケーションが円滑に稼動するための機能を提供するソフトウェア群の総称です。
- (*4) **UIM (User Identity Module) カード**
加入者IDや電話番号などの個人情報が暗号化されて格納されているICカードです。次世代携帯電話で使用されます。
- (*5) **Bluetooth™**
周波数2.4GHzの電波を使用して、直径最大約10mの範囲のモバイル端末同士をワイヤレスで接続するための無線技術です。
- (*6) **GSM (Global System for Mobile Communications)**
アジア（日本・韓国を除く）・欧州の各地で使えるデジタル携帯電話システムです。
- (*7) **SIM (Subscriber Identity Mobile) カード**
欧州・アジアの携帯電話で使われている小型のICカードです。電話番号やユーザーIDなどの情報やアプリケーションが書き込まれています。
- (*8) **プラットフォーム**
各メーカーにおいて基盤となるハードウェアやソフトウェアを指します。
- (*9) **CRM (Customer Relationship Management)**
詳細な顧客データベースをもとに、商品の売買をはじめ、個々の顧客とのすべてのやり取りを一貫して管理するものです。
- (*10) **iエリア**
iモードで現在位置情報が取得できるサービスです。
- (*11) **旅先メール**
ユーザーのいる場所によって、その地域限定の画像がダウンロードできるサービスです。旅先でダウンロードした画像をメールで転送することができます。
- (*12) **SWF (Shockwave Flash)**
Macromedia Flash™で作成したファイル形式です。Macromedia Flashは米国マクロメディア社が開発したアプリケーションで、音声やアニメーションを組み合わせてWebコンテンツを作成することができます。
- (*13) **ワイヤレスジャパン**
次世代携帯電話を中心に、ワイヤレスでインターネットを利用できる製品の展示会です。ワイヤレスジャパン2002は、2002年7月17・18・19日に東京ビッグサイトで開催され、140社以上が参加しました。
- (*14) **次世代携帯電話**
第3世代携帯電話とも呼ばれます。高速なデータ伝達能力により、高品質の音声や動画の転送などが可能です。
- (*15) **プロセッサ**
パソコンの中枢部分でデータ処理を行う集積回路のことで、CPU (Central Processing Unit) ともいいます。
- (*16) **SMS (Short Message Service)**
携帯電話で短い文字情報をやり取りするサービスです。電子メールとは違ったシステムで、発信したメッセージがサービスセンターで保存され、相手方が受信可能な状態のときに届けられます。
- (*17) **BREW™ Developer Award**
BREWプラットフォームを利用したアプリケーション開発者の功績を称えるものです。KTF (韓国)、KDDI (日本)、Verizon Wireless (米国) の各移動体通信事業者により利用可能な商用アプリケーションを提供している、すべてのBREW開発者が対象となりました。